

# みせん

瀬戸内海国立公園  
宮島地区パーク  
ボランティアの会

発行日  
平成13年3月1日

## <目次>

- P1 環境省への昇格挨拶
- P2 第3回JPR 戸河内(10/28~29)
- P3 研修会 砲台跡探索(11/25)/宮島の観光客
- P4 第4回JPR 宮島弥山サルシカ生態観察(12/9)
- P5 第2回 自然観察会・弥山清掃登山(1/13)
- P6, 7 PV会員自己紹介
- P8 PVの会 役員紹介



多宝塔から朱の鳥居を望む

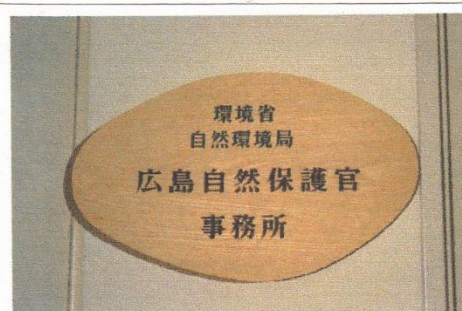
## 環境省に昇格

杉本 頼 優

21世紀になり、1月6日、省庁再編によって環境庁は環境省となりました。政府の中で環境省は、「廃棄物・リサイクル対策」を一元的に担当することになったほか、環境省自然環境局では、総理府が担当していた「動物の愛護」を新たに担当することとなり、また、「森林・緑地の保全、河川・湖沼、海岸の保全」等は他省庁と共同で担当することになりました。

広島自然保護官事務所の名称は下記のとおりとなります。業務は、ほぼ従来どおり「国立公園の管理」をメインに担当していきます。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

環境庁 自然保護局 広島自然保護官事務所  
↓  
環境省 自然環境局 広島自然保護官事務所



# △深入山▽で自然体験

JPR 第3回

- <日時> 平成12年10月28日(土)～29日(日)      <場所> 山県郡戸河内町深入山地区  
 <集合> 10月28日 8:00 広島駅                      <交通> 広島駅～JR～三段峡～マイクロバス～現地  
 <目的> 太田川の源流を訪ね、森林と川と海の間を学ぶとともに、色々の自然体験を通じて「人」「生活」「水」「動物」「植物」のかかわりについて考える。  
 <参加者> JPR 26名 (小学4年生から6年生) 同伴者 1名  
 講師 大丸 秀士氏(動物の解説) 栗栖 浩司氏(森林の解説)  
 スタッフ 自然保護官 伊藤 淳一、杉本 頼優、宮嶋 幸司  
 人間科学研究所 志賀 誠治、内平 八重子、長野 義春  
 PV (7名) 岩崎、谷口、名越、佛崎、森、森広、六重部(記録)

## ＝活動内容＝

### \*1日目(10月28日)

- 11:30～開会・オリエンテーション・昼食  
 13:00～自然体験(1)飛び出せ深入山「いろいろ自然遊び」  
 ① 動物編 カムフラージュ(人口物探し)、瞬間冷凍動物(狐と鼠の生き残りゲーム) オー・ディア(動物の環境による個体数変化ゲーム)  
 ② 水編 水の循環(私は水ゲーム)  
 ③ クラフト編 鉛筆のペンダント作り  
 17:00～いこいの村へ移動し入浴および夕食  
 自然体験(2)星座観察会…(曇天のため中止)  
 学習活動(1)スライドショー「西中国山地の四季」  
 同 (2)大きな木を作ろう  
 同 (3)絵本朗読「サンショウウオのお家」～22:00  
 講師の皆さんは子どもたちを退屈させないで話をし、聞かせ、体験させ、考えさせ、また感じたことをうまく引き出し、危険につながる行為に対しては厳しく指導し時には大声で叱りまた良いところはほめてやる、一つ一つが大変参考になりました。  
 ただ「ナイフを使ったことがない」「ノコギリや金槌を持ったことがない」という子どもたち…話には聞いていましたが大半がそうであったのを目の当たりにして驚きました。

### \*2日目(10月29日)

- 9:00～自然体験(3)小型ほ乳動物の巣箱作り  
 12:00～自然体験(4)巣箱設置と林間歩道散策(こんなもん見つけた)  
 学習活動(4)まとめのはなし～「つながり」を考える～  
 13:30～振り返りとまとめ・閉会  
 全ての行事を終え17:35無事広島駅着、解散となりました。  
 JPR行事も今回で3回目となると子どもたちも自分たちの役割をそれなりに理解し行動していたと思います。  
 帰りの列車では自分で悪戦苦闘して作った鉛筆型のペンダントを大事にぶらさげ居眠りをしている子どもたち、どんな夢を見ているのだろうか?想像するだけでも楽しいものがある。  
 今回の引率は子どもたちと一緒に行動し、沢山のことを学ぶことができました。この貴重な体験をこれからのボランティア活動に活かしていかなければと感じた2日間でした。



カムフラージュ



スライドショー



巣箱設置

# <明治時代構築> 砲台跡を探訪 PV 研修会

<日時> 11月25日 10:30~16:00

<場所> 杉之浦公民館、鷹の巣砲台跡

<講師> 杉之浦公民館 岡崎 環 先生

<参加者> 杉本保護官 PV 30名

## ◇ 軍と宮島 ◇

秋の研修会は臨時総会に引き続いて行われた。まず岡崎先生から「軍と宮島」と題して幕末から明治にかけて宮島が軍事上どのような役割を持っていたか、特に日露戦争を前に広島湾に侵入する敵艦船を砲撃する目的で構築された鷹の巣砲台について講話をしていただいた。

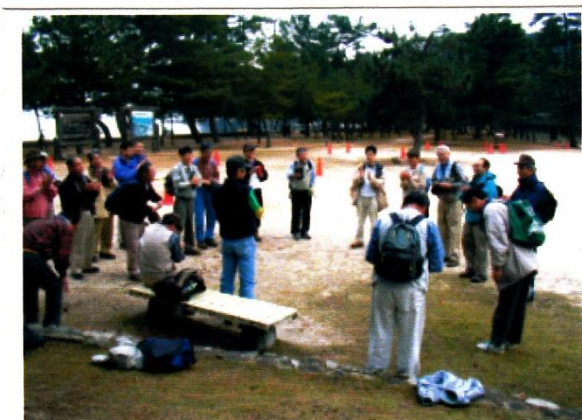
当時広島湾一帯は要塞となり司令部は呉に置かれたこと、各地の砲台構築工事すべてが陸軍築城部によってなされたこと、砲台設置後演習は実施したが一度も発射することなく「203高地」の攻防戦にむけて砲台を解体して旅順へ移送したことなど興味ある話を聞きました。

## ◇ 鷹の巣砲台跡 ◇

岡崎先生の話聞いた後、鷹の巣高砲台跡、低砲台跡の順序で現地を探訪しました。特に高砲台跡は普段、人の通らない所でシダが一面に生い茂っており、あらかじめ先生が下見をして道を馴らして下さった由。

砲台の設置されていた礎石や煉瓦作りの構造物など百年以上前に築いたとは思えないほどしっかりした形で残っているのには驚きました。また監視所から砲台へ情報伝達する手段として使われた伝声管もそのまま残っており、休憩所や厨房の跡など当時としては相当大規模な施設だったことがうかがえます。

高砲台の跡は非常に眺望の良いところで道を整備すれば格好のハイキングコースになるのだがと参加者が一様に感想を持ったようです。



## 宮島の観光客

こここのところ宮島に来る観光客が年々減少しています。皆さんも厳島神社に参拝したり、管絃祭などの祭りを見にきたのは最近ではいつですか？恐らく多くの方は少し前のことだと思います。

先日中国新聞に「20年間で最低」という見出しの記事が載りました、昨年宮島に渡った観光客の数のことです。

平成9年の大河ドラマ「毛利元就」ブームの時は過去最高300万人以上の方が観光で宮島を訪れたのですがそれ以来減りつづけ昨年は250万人を割ってしまいました。

2000年問題で1月の観光客数が減ったと思われるのですが、今年の1月はさらに下まわってしま

## 花見堂 英延

いました。

やっぱり割高の国内より、格安の海外に魅力があるんでしょうか？それとも宮島に魅力がなくなったのでしょうか。

私の職場の「杜の宿」では入浴時間が延びたせいもあるのですが、最近登山客の入浴が増えているようです、日曜日の朝の船には、そのような人々が必ず乗っています。

若い人たちは、そんなに神社仏閣に興味があるとは思えないので、これからは文化財だけでなく宮島の持つ独特な自然環境に目を向けていけば観光客も増えてくるのではないのでしょうか。観光も自然志向に変わりつつあるのかも・・・



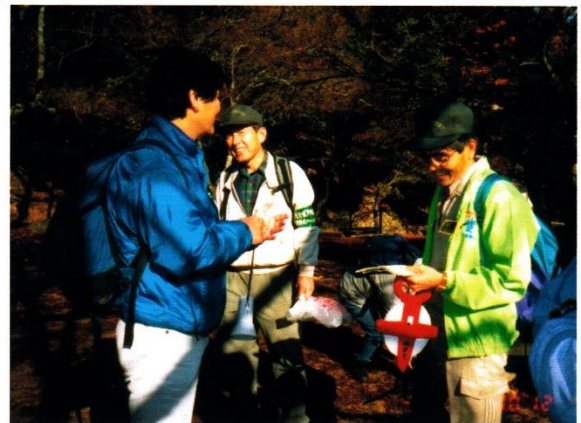
## 宮島弥山サル・シカ生態観察

JPR第4回

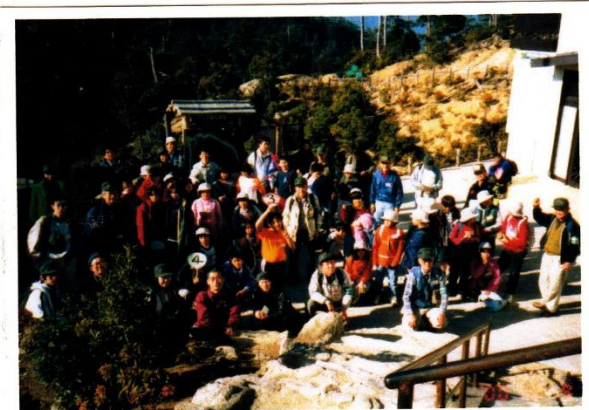
- <日時>平成12年12月9日(土)  
 <場所>宮島町紅葉谷公園→弥山(獅子岩)→宮島町役場  
 <集合>宮島口フェリー乗り場9:00(スタッフ8:30)  
 <解散>同上  
 <交通>JR宮島連絡船宮島口9:10→宮島棧橋9:20→紅葉谷公園9:45  
 →獅子岩13:30→観光会館14:45→宮島口棧橋16:25  
 <目的>紅葉谷から獅子岩を目指して登山し、途中で動物の痕跡や植物を観察する  
 <参加者数>41名(合同伴者3名)  
 <講師>金井塚務氏 菊間馨氏 澤直子氏  
 <スタッフ>山陽四国地区自然保護官事務所 榊博司 杉本頼優  
 人間科学研究所 内平八重子  
 パークボランティア 18名

## \*活動内容

- オリエンテーション:良い天候に恵まれ、あだ名での講師紹介など楽しい雰囲気スタート。棧橋から紅葉谷公園へ移動。金井塚講師の「森の掟」「動物の気持ちになり自然を体感」で心の準備。
- ・自分の体で自然を計る:10号堰堤までを歩幅と歩数で計測しながらただ黙々と歩く。(声をかけないで。)正解は400m。  
みんな良くできました。杉本氏より学校の勉強も役に立つ、「木の高さを測ってみよう」
  - ・サルの棲みか:10号堰堤から3グループに分かれ、サルになったつもりで行動。植物の観察、味見体験をしながら弥山原始林を歩く。15号堰堤付近で楽しみの昼食。
  - ・サル道を歩く:本日のメインイベント。14号堰堤まで下り、完全なけもの道に突入。高い堰堤を渡り、必死になってやぶこぎ。しかし、結構子供たちはサルの気持ちになったようで楽しそう。
  - ・サルのお話:獅子岩に到着。生態を観察する予定のサルが外の餌場に行っておらずシカが2匹。「今年はドングリが豊作でそちらに行っている。人間がエサをやってはなまけぐせがついてしまう。」サルのポーズで記念撮影(写真)の後、ロープウェイで班ごとに移動。紅葉谷駅から徒歩で役場へ。
  - ・ミニ講義:「動物の暮らしと森」サルの群の仕組みや餌としてのドングリの重要性など。
  - ・JPR行事全体の振り返り:どこが一番楽しかったかな。レンジャーの仕事の中身が理解できたかな。自然って何かわかったかな。最後に金井塚氏、杉本氏のまとめ「自然に対してもっとも大切なことは、自然を楽しく知ることそれは自分の五感で自然を体験すること」班ごとにまとまって宮島棧橋まで移動。(徒歩)渡船。
  - ・閉会のあいさつ・JPR解散



金井塚講師の説明



獅子岩で記念撮影

# 自然観察会・登山道清掃

～中道さんの特製テキストと解説による弥山七不思議と史跡巡り～

<日時>2001年1月13日(土)

<場所>宮島町弥山

<集合・解散>9:00集合 14:30(一旦)解散

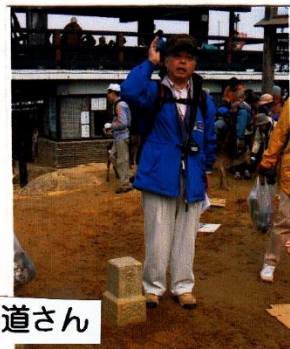
<担当部会>自然観察部会・環境整備部会

<コーディネーター>中道 勉 末原 義秋 (PV)

<参加者>パークボランティア19名 環境省1名(杉本氏) ゲスト2名 総計22名

今回は、自然観察部会と環境整備部会との合同企画。中道さんの力作「宮島弥山史跡巡りデジタルカメラ」と解説を聞きながら、弥山の清掃登山をしてしまおうという一石二鳥の楽しい話。

ゲストとして森さんの奥さんと中国新聞の広島西支局の記者さんを迎えて行われた。



楽しい解説をしてくれた中道さん

## <行程>

「主な経由地」  
(宮島棧橋前藤棚付近)

9:00集合  
9:25出発

9:45大聖院 (宮島いろいろ裏話)  
10:15再出発 御幸石・白糸の滝・茶屋跡・遊女石敷道

12:00御山神社 不消霊火堂・曼陀羅岩・梵鐘  
12:50レストハウス 昼食・記念撮影  
13:20再出発 陰陽石・干満岩・疥癬岩・大日堂・弥山本堂・錫杖梅

14:20一旦解散  
紅葉谷コース…14:55役場にて回収したごみを分別  
大元公園コース…15:20 同上



当日は各部会と杉本氏の新年のあいさつと今後の計画・省庁再編についての解説でスタート。(省庁再編については表紙を参照)当日の日程について打ち合わせのあと、中道さんにテキストについての苦労話などを聞き、ゴミ袋と火鉢をもって出発。

大聖院付近で中道氏の裏話を聞きながら、取材に来た記者さんを待って合流。(記事は15日付で掲載:本頁参照)引き続き中道氏の楽しい解説を聞きながら。



**宮島の登山道 クリーン作戦**

広島 自然保護  
市民グループ「宮島地区  
パークボランティア」の  
会が十三日、広島県宮  
島町の弥山登山道で、自  
然観察会を兼ねたクリー  
ン作戦を展開した。

地元や広島市内の会員  
二十一人が参加。大聖院  
から標高五百三十坪の山  
頂まで約二・五キロ、松  
や杉の残る原生林  
や史跡を巡りながら、空  
き缶やたばこの吸い殻な  
どを拾い集めた。下山時  
ニグループに分かれて別  
の登山道も清掃、計約二  
十キロのごみを回収した。  
会は昨年四月に発足。  
横山忠司会長(左)は「地  
道な活動を通じ、世界文  
化遺産の自然を守りた  
い」と話していた。



2001.1.15 中国新聞(夕刊)

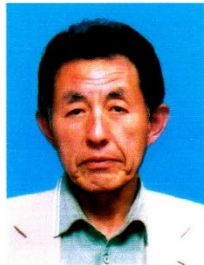
# PV会員紹介

## 第 3 回

### 谷口 和昭

観察部会  
B型

- ①廿日市市 四季が丘
- ②呉市
- ③妻の実家が宮島にあり、宮島で自分にも出来ることがあればと思い
- ④広島市の森林公園ボランティア
- ⑤マラソン、料理
- ⑥富士山
- ⑦下手な陶芸ながら焼きあがった自分の作品を手にしたとき
- ⑧やたら好奇心だけ旺盛であれこれ手を出すのが深くきわめたものが無い・・・最近反省しています。



### 立川 元英

環境整備部会  
O型

- ①広島市安佐南区 西原
- ②三次市、安佐南区 安東に長く住んだ
- ③宮島が多様性を持っているところ
- ⑤登山
- ⑥富士山（3回登った）
- ⑦15年前、米国で子どもの出産に立ち会い、生命の誕生を見たこと
- ⑧時間の許す限りPVに参加したいと思っております。よろしく願います。



### 麻生 博史

広報部会  
A型

- ①広島市東区 牛田
- ②大分県湯布院町（湯平温泉）牛田に20年
- ③貴重な文化遺産の宮島にボランティアとして関わられること。最初に読んだ長編小説が“新平家物語”であり、清盛のお導きか？
- ④会社で清掃活動
- ⑤溪流釣り（西中国山地でフライフィッシング）囲碁初段
- ⑥富士山、10年前に子供の小学校卒業記念に家族4人で。
- ⑦初めて釣行した源流で厳しい自然環境を氷河期から生き続けるイワナ（西中国山地ではゴギ）に出会ったとき。



### 自己紹介 アンケート

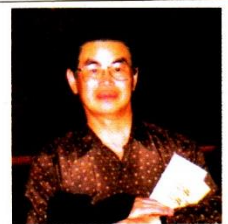
- ①現在住んでいる所、血液型
- ②出身地、今まで長く住んだ所
- ③PVに応募した動機
- ④他にボランティア活動をしていますか？
- ⑤趣味、特技など
- ⑥今までに登った一番高い山は？
- ⑦最近何か感動したことがありますか？
- ⑧その他自己PRなど何でも

(やなせ よしちか)

### 柳瀬 佳史

環境整備部会  
A型

- ①広島市南区 翠町
- ②鳥取 三朝温泉 中国電力広島で33年
- ③荒みけり南面の枯れ松の木、平家納経を世界の若人に感じとって欲しいとの思いで
- ④水害のあとの泥運び  
公園の犬糞除去
- ⑤水泳、但し現在脂肪肥り
- ⑥大山（昨夏にも登山）
- ⑦広島交響楽団、H12年 Xmas コンサート
- ⑧新世紀・古酒や新酒の旨き哉<紫坊閑人>



### 佐口 保雄

環境整備部会  
A型

- ①広島市安佐北区 安佐町
- ②佐伯郡湯来町 祇園町に25年
- ③季節を問わず宮島が好きだから
- ⑤登山、カメラ
- ⑥雄山（立山）白馬岳
- ⑦昨年9月 山岳・辺境文化セミナー（広島県山岳連盟主催）で講演者 平林克敏さんのサインをもらう。



### 近藤 芳子

観察部会  
A型

- ①広島市安佐南区
- ②栃木県、栃木県が長い
- ③宮島には何度か足を運び原生林と周辺の自然を楽しんでおりましたが更に理解を深め護っていく、お手伝いがしたかった。
- ④環境省の鳥類標識調査
- ⑤料理、登山、植物観察
- ⑥北岳(3192M)
- ⑦槍ヶ岳をバックに双六岳でブロッケン現象を見たこと
- ⑧鳥と話をする



**森広 香代子** 観察部会

- ①広島市安芸区 瀬野南町
- ②東広島市高屋町 現住地が長い
- ③自然事象に興味・関心を覚え、森林インストラクターの認定を受けたのを機に宮島を自分のフィールドにして学習し案内人になりたい、また尾瀬で黙々とゴミを拾っている人に出会ったこと。
- ④県立点字図書館の音訳ボランティア、広島市子育て支援ボランティア
- ⑤山歩き ⑥富士山
- ⑦日頃、散歩や山歩きをしている時、今まで気付かなかったことを発見した時・・・数えきれない位。

**竹中 康憲** 観察部会

- ①広島市東区 福田 O型
- ②下関 広島が一番長くなりました
- ③帽子と腕章に惹かれて
- ④広島市東区「緑のボランティア」で東区の自然保護に取り組んでいる。
- ⑤スポーツ全般
- ⑥八ヶ岳
- ⑦「緑のボランティア」活動で案内板の設置候補地の地権者をお願いに行った時、気持ち良くご理解いただいたこと。

**古川 義文** 環境整備部会

- ①宮島の対岸 対巖山 O型
- ②松山市 大野町が長くなった
- ③・身近にこんなすばらしい自然があった。  
・弥山でインタプリターをしてみたかった。  
・国立公園の自然環境保全に役立てればと
- ④宮島水族館の教育ボランティア、陸上競技大会などの競技役員(審判)
- ⑤旅行、登山、マラソン 自然探訪、音楽観賞・・・
- ⑥富士山。今も北ア、南アなど各地で登っている
- ⑦庭のバラ。ほったらかしなのに今季も大きな花が咲いた！感動・感謝・・・
- ⑧宮島周辺の山に登り、外から眺めてみるとことのほか宮島の自然の大きさと緑の森の濃さに誘い寄せられる。宮島といえば「赤い鳥居」に代表されるが、この自然を無視して語れないと再認識。

**森 明彦** 環境整備部会

- ①広島市安佐南区 東原 O型
- ②大分市 現在地に37年
- ③自然環境等の整備に少しでも役に立てばと
- ④ひろしま人と樹の会、広島市森林公園管理ボランティア
- ⑤植木の手入れ
- ⑥昨年より登山を始め、十方山
- ⑦昨年の11月、中国旅行で見た2140年前のミイラの保存状態が非常に良いのに感動。

**池田 靖夫** 環境整備部会

- ①広島市安芸区 瀬野
- ②広島県安芸郡 音戸町
- ③宮島をよくよく知っていた為
- ④NACS-J
- ⑤カラオケ、山歩き
- ⑥富士山
- ⑦中国新聞「広場」欄の投稿文(すばらしい文章力)
- ⑧\*小学校5年の夏休みに音戸の瀬戸を泳いで渡った。  
\*今まで富士山に5回登った、他に槍ヶ岳 大山、三瓶、九重、石槌、剣・・・  
\*昨年は「ソバ」の試植えをし、今年は休耕田の再利用に「ナタネ」と「ソバ」作りを考えています。



(ぶつぎき)

**佛崎 勝弘** 環境整備部会

- ①広島市東区 O型
- ②呉市 現住地が長い
- ③宮島の自然に積極的に接するため
- ④森林整備(森林インストラクター、もりメイト倶楽部)
- ⑤バードウォッチング ツリーウォッチング  
きのこ栽培
- ⑥雪の槍ヶ岳
- ⑦今年の2月新雪の臥龍山でキテンに遭遇したこと・・・銀世界の中で、黄色の毛並みがとても印象的でした。
- ⑧芸北の自然が好きで自然観察によく出かけます。冬には雪山をXCスキーやかんじき等でトレッキングしています。同好の方がおられましたら、ご一緒しませんか。



◇ 次号発行予定のお知らせ ◇

発行予定日	6月 1日
原稿締切日	4月 末日

# 「PVの会」役員決まる

昨年6月「パークボランティアの会」発足以来、未定となっていた役員人事について11月25日(土)杉之浦公民館で臨時総会が開かれ会長、副会長、会計については幹事会の推薦を受けた次の人々が選出されました、また同時に監査員も選出しました。任期はいずれも2年です。

会長 横山 忠司      副会長 中川 正      会計 末原 義秋  
                                足立 清                  監査員 平山 美知子

## 会長 横山 忠司

このたび会長をお引き受けすることになりました横山です、至りませんがよろしくお願い致します。

宮島の歴史・文化財・弥山原始林とかかわりながら、環境省の「パークボランティア登録要領」等に基づくPVの諸活動を行っていくうえで素晴らしい背景と地の利を頂きました。

皆様と一緒に目標と一体感を持って、有意義な活動を継続的に行っていきたいと願っています。

## 副会長 中川 正

このたび副会長に選任されました中川です、裏庭から眺める弥山の山なみは、今朝も青空にくっきりと浮かんでいます。

宮島の美しさを、自然のすばらしい営みを多くの皆さんに知っていただける様、努力したいと思っています。よろしくお願いします。

## 副会長 足立 清

副会長に選出されました足立です、大変光栄に思っています、よろしくお願い致します。

PVの会がより有意義な活動を続けていけるように皆さんのお役に立ちたいと思っています。

広報の立場から会員のコミュニケーション向上と自己啓発活動を通じて努力したいと思っています。

参加することが楽しい会としたいものです。

## 会計 末原 義秋

宮島地区パークボランティアの会の会計に選ばれ責任を痛感しております、またこの会に参加して会員の皆様方が宮島の自然、歴史、文化への理解と情熱があることに驚きを感じました。

今後も会の会計及び環境整備部会の幹事として公園の美化と宮島の自然を護るよう自然保護意識の向上に寄与したいと思いますのでよろしくお願い致します。

## お 知 ら せ

平成13年度 PVの会総会を4月15日(日)に開催します、詳細は別途連絡致します。

## ◆ 編集後記 ◆

▼今年の1月、海外旅行で福岡空港から出発した時、空港で他の団体のなかにPVのグリーンのワッペンを胸につけている人が2名いました、九州地区のPVだと思いましたが、思わぬ所で同土に巡り合えたという想いと、この人たちはどこへ行くにもワッペンをつけてPVの誇りと自覚を持って行動しているのかと思うと大いに考えさせられました。

▼皆様のご協力により「会員の自己紹介」も12人を残すだけとなりました、次号で全部掲載の予定ですの  
      ( 足立 )



## 瀬戸内海国立公園

### 宮島地区 パークボランティアの会

事務局 環境省自然環境局

広島自然保護官事務所

〒730-0012 広島市中区上八丁堀6番30号

広島合同庁舎2号館6階

Tel:082-223-7450 / Fax:082-223-7451